
市町村におけるリユース取組事例

2024年12月10日

【資料構成】

(1) リユース事業者紹介方式	3
(東京都世田谷区、群馬県明和町、埼玉県坂戸市、岩手県矢巾町)	
(2) 交換掲示板方式	5
(東京都練馬区、神奈川県葉山町、神奈川県座間市)	
(3) イベント方式	7
(京都府亀岡市)	
(4) 常設交換方式	8
(愛知県武豊町、岡山県真庭市、徳島県上勝町)	
(5) リユース品回収方式	9
(東京都八王子市、京都府京都市、長野県松本市)	
(6) 市町村回収後選別方式	11
(千葉県松戸市、神奈川県川崎市、愛知県蒲郡市)	
(7) その他	14
・ 「リペア」に関する事例 (東京都町田市)	
・ 市町村で不要となった物品の譲渡 (リユース) (神奈川県座間市)	
・ 粗大ごみになる前にリユースの実施を呼び掛け (神奈川県川崎市)	
・ 庁内におけるリユース品の調達 (大阪府吹田市)	
・ 小規模市町村でのリユース品回収方式の事例 (岩手県矢巾町)	
・ 市町村内における制服のリユース (神奈川県座間市)	

(1) リユース事業者紹介方式

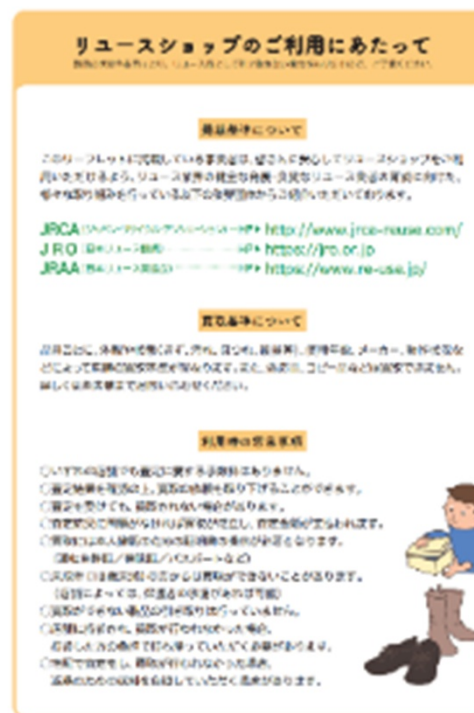


事例紹介：東京都世田谷区／平成23年度モデル事業

東京都世田谷区では、モデル事業の成果を踏まえて、毎年チラシの情報更新を行っています。チラシは、NPOに委託して作成し、3つのリユース業界団体から紹介された店舗を掲載しています。

リユースショップを紹介するチラシは、区のホームページで紹介されています。

(出所) 世田谷区ホームページ <https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kurashi/004/012/d00026433.html>



事例紹介：群馬県明和町／平成23年度モデル事業

群馬県明和町では、近隣のリユースショップ（1店舗）を紹介するチラシを作成し、町の広報紙等でもリユースショップの利用を呼び掛けています。（平成23年度モデル事業）

(出所) 明和町ホームページ掲載「広報明和2022年8月号 No.287」p.7

https://www.town.meiwa.gunma.jp/material/files/group/1/kouhou_R04-08.pdf

(1) リユース事業者紹介方式

事業者等と連携した事例紹介：埼玉県坂戸市／令和4年度モデル事業

近年は家庭で不要となった製品について、関連情報を入力するだけで査定結果（買取可否、買取時の価格）がわかるサービスを展開する民間事業者も現れています。

埼玉県坂戸市では、市のホームページや折込チラシにて、株式会社マーケットエンタープライズ社が展開する「リユースプラットフォーム『おいくら』」を住民に紹介し、粗大ごみとして出す前に、リユースを検討することを推奨しています。

同サービスでは、商品情報入力ページより査定を依頼したい不要品のカテゴリーを選択し、商品情報等を入力すると、複数のリユース事業者から無料で買取価格の査定を受けることができます。

モデル事業を実施した約4か月間に、計169点（約3,150kg）の査定依頼が寄せられました。

（出所）令和4年度モデル事業最終報告書「子育て世帯向けリユース品のマッチング事業報告書」（埼玉県坂戸市、2023年2月）



事業者等と連携した事例紹介：岩手県矢巾町

岩手県矢巾町では、ごみの減量と住民の暮らしの向上を目指し、ウリドキ株式会社が展開する「売りたい人とプロの査定士を繋ぐマッチングサービス『ウリドキ』」を紹介し、買取マッチングサービスの活用を斡旋しています。

同サービスでは、家具、家電、ブランド品、おもちゃ、ホビー用品等幅広い品を買取対象とし、写真を撮って出品するだけの手軽さでありながら、無料で複数社の査定を受けることができます。

（出所）矢巾町ホームページ <https://www.town.yahaba.iwate.jp/docs/2022060300065/>

(2) 交換掲示板方式

事例紹介：東京都練馬区

東京都練馬区では、家庭で不要になった粗大ごみの再使用を進めるため、「大型生活用品リサイクル情報掲示板」を16施設に設置しています。この掲示板に、区民から提供された「譲ります」「譲ってください」というリサイクル情報を掲示することで、リサイクル情報の交換の場を提供しています。

営利を目的としない18歳以上の練馬区民が掲示可能であり、郵送または区の窓口での申請を受け付けています。

引取方法等の交渉は、引取希望者と情報掲示者が直接行います。

(出所) 練馬区ホームページ

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/gomi/recycle/keijiban.html>



事例紹介：神奈川県葉山町

交換掲示板はその他の多くの市町村でも実施されている取組です。

神奈川県葉山町では、「ゆずります」に加えて、「ゆずってください」という情報も併せて掲載しています。営利を目的としない20歳以上の葉山町民が利用可能となっています。

(出所) 葉山町ホームページ

<https://www.town.hayama.lg.jp/soshiki/kankyoku/1/1/1705.html>

<https://www.town.hayama.lg.jp/material/files/group/11/18498507.pdf>



登録番号	022
登録日	2008年06月22日
品名	オイルヒーター
希望価格	5,000円
仕様・サイズ等	○×社製のオイルヒーターです。 消費電力1800W、 縦×横×幅=60×60×25cmです。 プーカートP http://www.marubakouyou.com
使用状況	2005年に購入し、毎年5ヶ月ほど使用してあります。 細かい磨き傷などがありますが、錆びや割れはありません。 実用にはなんら問題ないと思います。
引取条件等	大きくて重いので、取引に来ていただければありがたいです。 運ぶなってしまってもかまわないのでしたら、お宅までお届けいたします。



(2) 交換掲示板方式

事業者等と連携した事例紹介：神奈川県座間市／令和5年度モデル事業

神奈川県座間市では、地域共助プラットフォームアプリ「common」を活用し、まだ使える物品を譲りたい市民と、譲り受けた市民間のマッチングを促進しました。マッチング後の譲り渡しが効率的に進むよう、受け渡し用ロッカーの設置や、粗大ごみ回収車を活用した無料配送等の工夫を施しました。**令和5年10月～令和6年2月の期間に、317品が出品され、175件の引き渡しが実現しました。**

粗大ごみ回収車を活用した収集運搬については、「市民が、物品を無償で、又は輸送費（粗大ごみ処理費）を払って所有権を手放す場合、総合判断説に基づけば、当該物品に有価性はなく、廃棄物となるため、市は当該物品を廃棄物として収集運搬・処理できる。本取組は、市が収集した廃棄物を廃棄物処理施設でなく、他の市民宅に運搬することで廃棄物の適正処理を行っているもの。」という解釈にて実施されました。

（出所）令和5年度モデル事業最終報告書「あなたの街の思いやりリユースプロジェクト」（神奈川県座間市、2024年2月）

<民間企業等との連携>

- ①東急株式会社：アプリ「common」の運用管理、置き渡しロッカーの設置支援等
- ②小田急電鉄株式会社：本取組の広報、他の連携団体とのコーディネート等
- ③座間市リサイクル協同組合：不要となった物品（比較的大きな物品）の収集運搬



置き渡し用ロッカー
「common spot」



配送の様子
(粗大ごみ回収車)

(4) 常設交換方式

事例紹介：愛知県武豊町／平成26年度モデル事業

愛知県武豊町では、資源回収拠点の中に、常設交換場所「武豊常設交換場所」を開設しました。既存の資源ステーションの委託管理者による運営が可能となり、低コストで取り組むことができます。

加えて、資源回収ステーションと併設することで、資源の持ち込みと一緒にリユース品を持ち込むことが可能であり、利便性の向上に繋がっています。

(出所) 武豊町ホームページ

<https://www.town.taketoyo.lg.jp/kurashi/1001503/1001562/1001564/1001653.html>



事例紹介：岡山県真庭市、徳島県上勝町

他にも、岡山県真庭市では道の駅に併設された「リユースプラザ醍醐の里」にて市民による交換及びリユース品の販売を行っています。また、徳島県上勝町では、資源回収拠点に併設された「くるくるショップ」にて不要品の無料交換を行っており、利用者に持ち込み・持ち帰り時に、重量を計測してもらうことで、リユースの効果を把握しています。

(出所) 真庭市ホームページ <https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/14/1850.html>

上勝町ゼロ・ウェイストセンターホームページ <http://zwtk.jp/zwcenter/>

(5) リユース品回収方式

事業者等と連携した事例紹介：東京都八王子市／令和4～6年度モデル事業

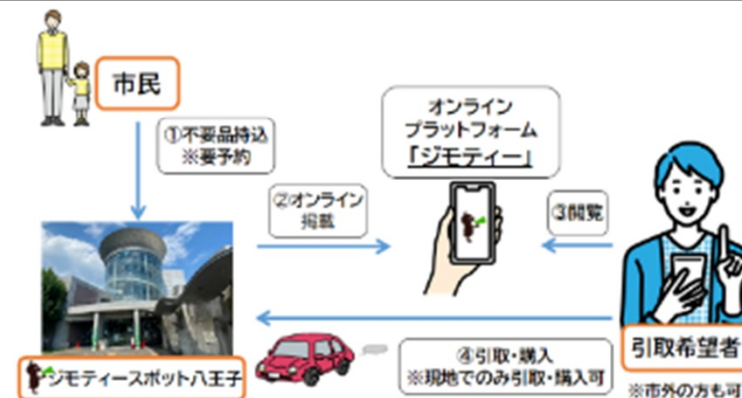
東京都八王子市では、粗大ごみ等の減量及び資源の有効活用を目的に、住民から不要となった再利用可能な品物を回収・譲渡スポットで受け取り、新たな利用者に有償又は無償で引き渡す実証事業を行いました。実施にあたっては、公募によって選定された株式会社ジモティーが実務を担い、スポットには市施設を活用しました。なお、住民から受け取った品物は、スポットに陳列すると共に、株式会社ジモティーが運営するデジタルプラットフォームにも掲載することで、より多くの引き取り希望者が集まるよう工夫を施しました。（「交換掲示板方式」に相当。）

令和4年度のモデルを基盤に、令和5年度は、市が回収した粗大ごみ等のうち再利用可能な品物の一部についても同様に販売・譲渡を始めました。（「(6)市町村回収後選別方式」に相当。）更に、令和6年度は、高齢等を理由に品物の持ち込みが難しい市民を対象とした個別回収を始めました。

週3回（金・土・日曜日）スポットを開設し、令和4年9月～令和5年2月の期間に7,088件（重量ベースでは約35トン）の引き渡し、令和5年10月～令和6年2月の期間に6,863件（重量ベースでは約36トン）の引き渡しが実現しました。

（出所）令和4年度モデル事業最終報告書「オンラインを活用した不要品のリユース実証事業」（東京都八王子市、2023年2月）、令和5年度モデル事業最終報告書「地域のデジタルプラットフォームを活用した不要品のリユース実証事業」（東京都八王子市、2024年2月）、令和6年度モデル事業最終報告書「リユース品の訪問回収プロジェクト～地域のデジタルプラットフォームとの連携～」(東京都八王子市、2024年12月)、
「ジモティー/ジモスポ八王子」ホームページ

<https://jmt.jp/profiles/62d66cbc8b379b06722d9419>



(5) リユース品回収方式

事業者等と連携した事例紹介：京都府京都市／令和4年度モデル事業

京都府京都市では、家庭で不要になった衣服の回収ボックスを市内に設置し、再利用可能な衣服の販売等を実施する、使用済衣服の回収&循環プラットフォームを立ち上げました。プラットフォームは右図のとおり、多様な事業者によって構成されました。回収ボックスは全161箇所（市内57箇所）に設置し、回収した衣服は株式会社ヒューマンフォーラムが仕分けを行い、リユース可能な衣服には値付けの上、同社が運営する店舗等で販売を行いました。**令和4年9月～令和5年2月の期間に回収ボックスで回収した衣服は、4,593kg（18,372着、1着0.25kgとして換算）ありました。**

（出所）令和4年度モデル事業最終報告書「地域内での使用済衣服の回収&循環のプラットフォーム“RELEASE CATCH”創出のための検討・実証事業」（京都府京都市、2023年2月）



事業者等と連携した事例紹介：長野県松本市

長野県松本市の「松本キッズ・リユースひろば事業」では、短期間で使われなくなる育児・子ども用品を住民から提供を受け、希望者にリユース品として無料で配付しています。市内26か所の回収場所（公民館、支所の回収ボックス）にて無料で回収し、無料配付会は年6回開催しています。回収時期を限定せず、年間を通して施設の開館時間に受付を実施していることで、**年間15トン程度の回収を実現しています。**

市はホームページや広報誌・チラシの作成や広報、回収拠点や回収品の整理及び保管場所の提供の役割を担い、回収品の整理及び保管から配付会の手配・運営等は外部の事業者へ委託されています。

（出所）松本市ホームページ<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4537.html>



(6) 市町村回収後選別方式

事業者等と連携した事例紹介：千葉県松戸市

千葉県松戸市では、令和4年10月30日から、リサイクルセンター内の再生家具室に「リユース工房くりんくる」を開設しました。市が回収・無償譲渡した粗大ごみ等を、障がい者就労団体（社会福祉法人まつかぜの会、社会福祉法人松里福祉会。広く募集したところ、2団体からの応募があった。）が清掃・補修・販売する事業を行っています。平成30年度より実証事業として取り組み、3年半の検討結果を踏まえて、開設に至りました。販売での売上は障がい者就労施設の工賃として還元されており、ごみの減量と障がい者の就労支援を同時に推進する千葉県内初の取組となっています。

（出所）松戸市ホームページ、「2022年10月27日 リサイクル通信特別号」p.2

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/gomi_shinyou/recycle/sodaigomiriyusu.html

https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/gomi_shinyou/recycle/risaikuru.files/r4tokubetsu.pdf



(6) 市町村回収後選別方式

事業者等と連携した事例紹介：神奈川県川崎市／令和4年度モデル事業

神奈川県川崎市では、高齢化社会に対応した市民サービスの一環として、自らが一定の場所までごみを持ち出すことができない住民を対象に、ごみの排出者宅前又は所定の場所まで直接収集しに行くサービスを実施しています。粗大ごみとして収集されたものの中で、リユース可能と思われるものについては、モデル事業で開設した「官民連携・譲り合いスポット（連携事業者である株式会社ジモティーが運営）」に提供し、住民に引渡を行いました。排出者からはリユース利用に対する同意を得ていますが、処理手数料を受け取っているものであることから、リユース時は無償で引き渡すこととしました。

なお、「官民連携・譲り合いスポット」では、住民から不要となった使用済み製品を受け取り、新たな利用者に販売・譲渡するという取組が実施されました。（「リユース品回収方式」に相当。）

（出所）令和4年度モデル事業最終報告書「地域情報の掲示板サイト（デジタルプラットフォーム）を活用した、官民連携・譲り合いスポットによる先導的かつ総合的なごみ減量・リユース促進事業」（神奈川県川崎市、2023年2月）

■市の粗大ごみからのリユース品の掲載例（月15~20品リユースを実施）

1216-045 【無料】 衣装ケース (登録ID: z1kv)



価格 **0円**

取り場所 **川崎市・多摩区・長尾**

ジャンル -

登録者 **ジモス水川崎**
男性
投稿: 8348

● 注意事項

1116-006 【無料】 CDラジカセ audiocomm (登録ID: yqhk7)



価格 **0円**

取り場所 **川崎市・多摩区・長尾**

ジャンル -

登録者 **ジモス水川崎**
男性
投稿: 8348

● 注意事項

(6) 市町村回収後選別方式

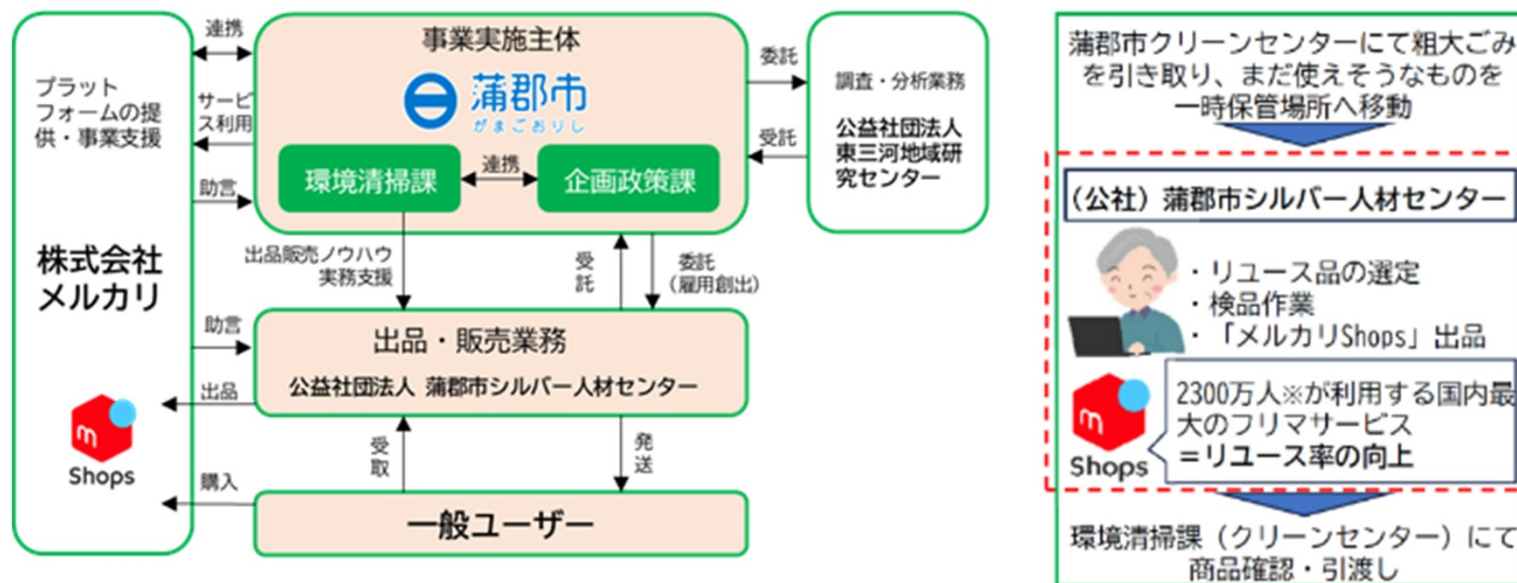
事業者等と連携した事例紹介：愛知県蒲郡市／令和5年度モデル事業

愛知県蒲郡市では、公益社団法人蒲郡市シルバー人材センター、株式会社メルカリ、公益社団法人東三河地域研究センターと連携し、市民からクリーンセンターへ持ち込まれた粗大ごみを選別し、リユース可能な商品として「メルカリ Shops」にて有償販売する事業を実施しています。リユース品の選定・検品やメルカリShopsへの出品作業等は、地域の高齢者の手で実施されました。

モデル事業では、売却後の商品を配送する方式と、現地で引渡す方式の2種を比較するなど、事業の収支バランスや費用対効果の改善に公民連携で取り組みました。

令和5年10月～令和5年12月の期間に79品（172.6kg）の売却を実現しました。

（出所）令和5年度モデル事業最終報告書「高齢者の力でリユース推進！粗大ごみのネット販売によるサーキュラーエコノミーモデル化事業」（愛知県蒲郡市、2024年2月）



(7) その他：「リペア」に関する事例



事業者等と連携した事例紹介：東京都町田市＞「⑥市町村回収後選別方式」×「リペア（修繕）」

東京都町田市では、一般財団法人まちだエコライフ推進公社と協定を結び、ごみの発生抑制及びリサイクル推進を図るため、粗大ごみを修理・再生し、安価で住民へ販売しています。修理して販売することで、ごみとして処理する量を減らすと同時にリユースの促進につながるため、不要となった粗大ごみが2つの側面で有効利用されます。**2022年の再生販売実績は6,119点であり、約76トンのごみ減量が実現されました。**

(出所) 東京都町田市ホームページ

<https://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyo/gomi/event/riyusutorikumu/saiseihannbai.html>

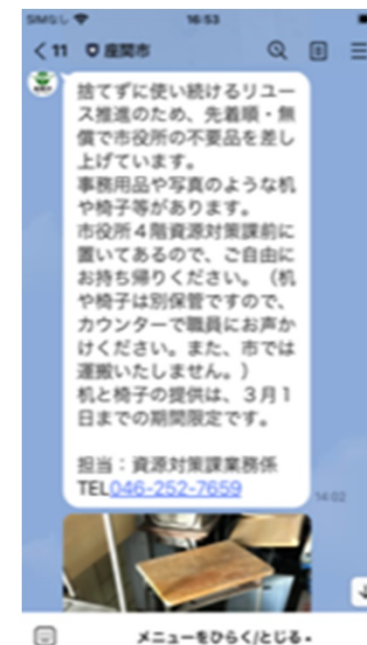


(7) その他：市町村で不要となった物品の譲渡（リユース）

事例紹介：神奈川県座間市／令和4年度モデル事業

神奈川県座間市では、市役所で不要になった机や椅子等を市民や事業者に無償譲渡しました。SNS上にて市のアカウントから譲渡に関する情報を発信し、市役所にて先着順で配布しました。無料なら利用したいという住民も多く、情報発信後3時間で10組を超える住民が来庁されました。実施に当たっては、座間市の物品管理関係規則に従い、市にて「不用の決定」を行った上で、「売却」「譲渡」「廃棄」の中から「譲渡」を選択して、実施されました。

（出所）令和4年度モデル事業最終報告書「埋もれている再利用価値発掘活用大作戦！」
（神奈川県座間市、2023年2月）



(7) その他：粗大ごみになる前にリユースの実施を呼び掛け



事例紹介：神奈川県川崎市／令和4年度モデル事業

神奈川県川崎市では、粗大ごみの排出を行おうとする住民に対し、リユースの実施を検討するよう積極的な呼び掛けを実施しています。近年は住民が粗大ごみの回収依頼を市ホームページから実施する事例が多いですが、川崎市は「粗大ごみの出し方」のページにて、すぐに回収依頼の申請方法を紹介するのではなく、不要品のリユースを呼び掛け、市の連携事業者のサービスを紹介しています。

(出所) 川崎市ホームページ
<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/000012773.html>

粗大ごみの出し方

2023年9月19日
コンテンツ番号12773

不要品をごみとして出す前に、リユースにつなげてみませんか？
処分費用をかけずに引渡しができるかもしれません。

川崎市では、年間2,000トンの粗大ごみが排出されています。その不要品、「リユース（再利用）」しませんか？
市の連携事業者が運営するサービスがありますので、ぜひこの機会にリユースをご検討ください。

リユースはこちら

おいくら? ←①リユース事業者リスト方式

一度に複数のリユースショップの買取価格を比較し売却できるサービス

詳細は[こちら](#) (外部リンク)

【「おいくら」の特徴】

- ・自分で運べない大型品も対象
- ・出張買取では自宅まで買取に来てくれる
- ・出品の際の手数料無料

ジモティー ←②交換掲示板方式

不要になったがまだ使えるモノを個人間で譲ることができるサービス

詳細は[こちら](#) (外部リンク)

【ジモティーの特徴】

- ・不要品を投稿し地元で譲り先が見つかる
- ・売れなかった不要品も譲れる可能性あり
- ・出品の際の手数料無料

ジモティースポット川崎

←⑤リユース品回収方式

株式会社ジモティーと連携してジモティースポット川崎を開設し、リユースの実証実験を行っています。スポットに持ち込んでいただいたまだ使える不要品は無料で引き取りいたします。持ち込みは事前予約制です。

「ジモティースポット川崎」の詳細・予約受付は[こちら](#) (外部リンク)

粗大ごみのインターネット申請はこちら

インターネット受付(24時間受付) (外部リンク)

粗大ごみの処理手数料について

収集日は[こちら](#)で確認できます。(収集日は月2回)

粗大ごみの排出に関するHPの冒頭で、リユースの検討を呼び掛け。

「不要品をごみとして出す前に、リユースにつなげてみませんか？処分費用をかけずに引渡しができるかもしれません。」

市の連携事業者のサービスや、連携事業者との官民連携事業を紹介。

リユースを検討いただいた上での手段として、粗大ごみの申請を紹介。

(7) その他：庁内におけるリユース品の調達

事例紹介：大阪府吹田市

大阪府吹田市では、グリーン購入に係る調達方針である「吹田市環境物品等調達方針」の中で、「リユース品の調達」を明示し、庁内におけるリユース品の調達に取り組んでいます。

令和5年度には、オフィス家具の調達時にリユース品が活用されました（計5件の調達。調達品目は、スライド書庫、ロッカー、椅子）。

■ 5 リユース品の調達

（略）リユース品の購入は、製品の新たな製造を抑制し、資源やエネルギーの消費を減らすことに繋がることから、グリーン購入対象品目におけるリユース品の購入は、環境ラベルの有無に関わらず、グリーン購入適合とする。

■ 別記 分野ごとの対象品目と判断基準

（略）ただし、リユース品については、製品ごとに状態が異なり、希望使用年数とリユース品の耐用年数に乖離が発生する場合があることから優先順位を設けないが、本方針に則り、総合的に判断しリユース品の調達に努めること。

（出所）「吹田市環境物品等調達方針」（令和6年4月）

https://www.city.suita.osaka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/288/2024040101.pdf

吹田市環境物品等調達方針



令和6年（2024年）4月

（７）その他：小規模市町村でのリユース品回収方式の事例

事例紹介：岩手県矢巾町

リユース品の回収が進むか不安な場合は、週替わりで回収場所を変えることで、住民の参加率を高める工夫が考えられます。

岩手県矢巾町では、元々古着・古布の回収を実施していた社会福祉法人盛岡市民福祉バンクと連携し、雑貨や家具を含む多様なリユース品回収を令和4年度より実施しています。回収方法は2週間に1回の頻度で町内に回収場所を開設し、矢巾町民に不要になった品物を持ち込みます。（回収場所は小学校駐車場、公共施設スペース2カ所の計3カ所を週替わりで廻っています。）元々回収事業を実施していた社会福祉法人盛岡市民福祉バンクのノウハウを活用して実施したため、町の過度な負担になることなく、円滑に回収運営が行われています。過去10日の開催で約240組が品物を持ち込み、ごみ減量の一助となっています。他市町村に比べて街もそれほど広くはないことが、拠点回収の利便性を高めていると考えられます。

(出所) 矢巾町ホームページ

<https://www.town.yahaba.iwate.jp/yahabatown/switch/2022/2022062300025/riyusu.pdf>

[illegible][illegible]

(7) その他：市町村内における制服のリユース

事例紹介：神奈川県座間市

神奈川県座間市では、令和5年4月から市内の公立中学校（6校）の制服を共通化し、新標準服を導入しました。これにより、市内全校で幅広くリユースが実施できるようになりました。

（出所）座間市プレスリリース「市立中学校で新標準服を導入」（令和4年8月24日）
https://www.city.zama.kanagawa.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/003/543/0824.pdf



新標準服